

2026年3月期第2四半期（中間期）
（2025年4月1日～2025年9月30日）

決算参考資料

2025年11月13日



株式
会社

サガミホールディングス

東証プライム・名証プレミア上場 証券コード：9900

目次

1. 連結対象企業の事業内容	-3-
2. 店舗展開の状況	-5-
3. 2026年3月期第2四半期（中間期）業績概況	-7-
4. 財政・キャッシュフローの概況	-9-
5. 2026年3月期第2四半期（中間期）のトピックス	-10-
6. 2026年3月期について	-15-

連結対象企業の事業内容



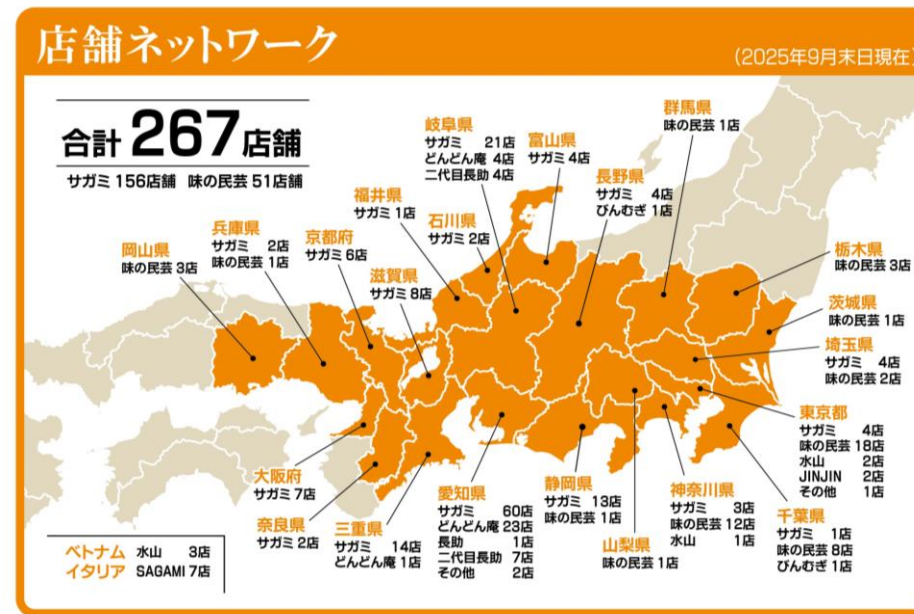
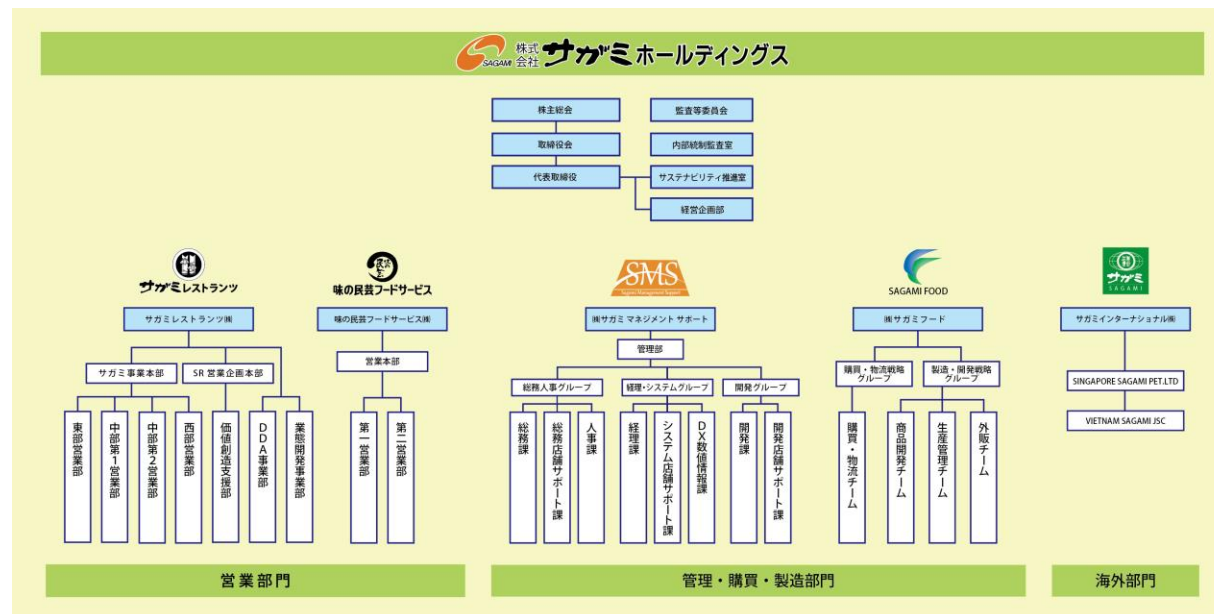
連結対象子会社一覧

名称	所在地	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
サガミレストランツ株式会社	名古屋市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
味の民芸フードサービス株式会社	名古屋市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100%	グループの管理業務 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	10,000,000円	100%	食材の仕入・製造業務 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	5,750,000米ドル	100%	海外事業（ASEAN）の統轄
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100%	飲食店の経営

連結対象企業の事業内容



連結対象子会社一覧



- サガミレストランズ株式会社は、主に和食麺処サガミ業態、どんどん庵業態、長助業態、二丁目長助業態を経営しております。
- 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態を経営しております。
- 株式会社サガミマネジメントサポートは、主に管理業務を行っております。
- 株式会社サガミフードは、主に食材の仕入・製造を行っております。
- サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行っております。
- SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、ASEAN地域での事業（ベトナム）の統轄を行っております。

店舗展開の状況

	2025年 3月期	2026年3月期（計画）			2026年3月期 第2四半期		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麺処サガミ	152	12	-	164	4	-	156
味の民芸（FC店舗含む）	51	2	-	53	1	1	51
どんどん庵（FC店舗含む）	29	1	1	29	-	1	28
長助・二代目長助	12	3	2	13	2	2	12
その他国内店舗（FC店舗含む）	11	-	1	10	-	1	10
海外 ベトナム	3	-	-	3	-	-	3
海外 欧州（FC店舗）	8	-	-	8	-	1	7
合計	266	18	4	280	7	6	267

■ 業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

店舗展開の状況（新規出店）

和食麺処 **サガミ** 4 店舗

2023年度に初出店した長野県内に4店舗目を出店



●和食麺処サガミ 長野篠ノ井バイパス店



●和食麺処サガミ 塩尻北インター店

2025年4月	愛知県	幸田店
5月	大阪府	河内長野店
7月	長野県	塩尻北インター店
8月	長野県	長野篠ノ井バイパス店

味の民芸

1 店舗

2025年
5月

神奈川県

新綱島駅前店



●味の民芸 新綱島駅前店

十割そば 二代目 長助 2 店舗

2025年
4月

愛知県

知立店

愛知県

日進店



●十割そば二代目長助 知立店

2026年3月期第2四半期（中間期）業績概況



連結ベースの経営成績

（単位：百万円）

	2025年3月期 第2四半期（中間期）	当初計画 第2四半期（中間期） （2025.5.13発表）	2026年3月期 第2四半期（中間期）	前年差異	計画差異
売上高	17,164	18,500	19,586	2,421	1,086
営業利益	1,282	1,300	1,849	566	549
経常利益	1,308	1,350	1,875	567	525
当期純利益	989	800	1,188	198	388
一株あたり 当期純利益	32.79	26.51	39.45	6.66	12.94

■売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに期初計画を上回って推移しております。

■原材料価格の高騰や、人件費の上昇など営業コストは上昇基調にある中、営業施策、及び商品施策による付加価値の向上により、客単価の上昇などに寄与し、各利益は前年実績に対して増益となりました。

2026年3月期第2四半期（中間期）業績概況



前年同期比

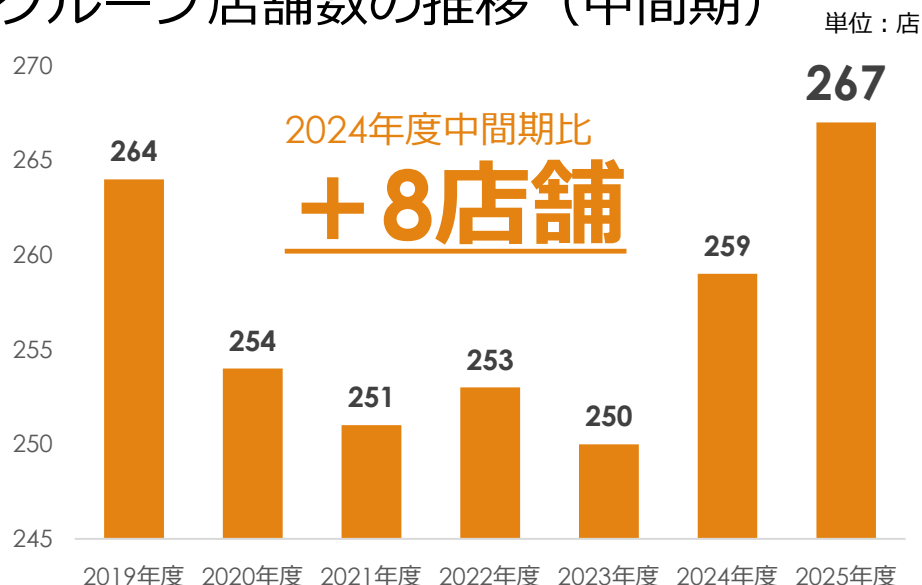


売上高、営業利益をはじめとする各利益項目が中間期としては過去最高を更新

※2000年度以降実績より自社調べ

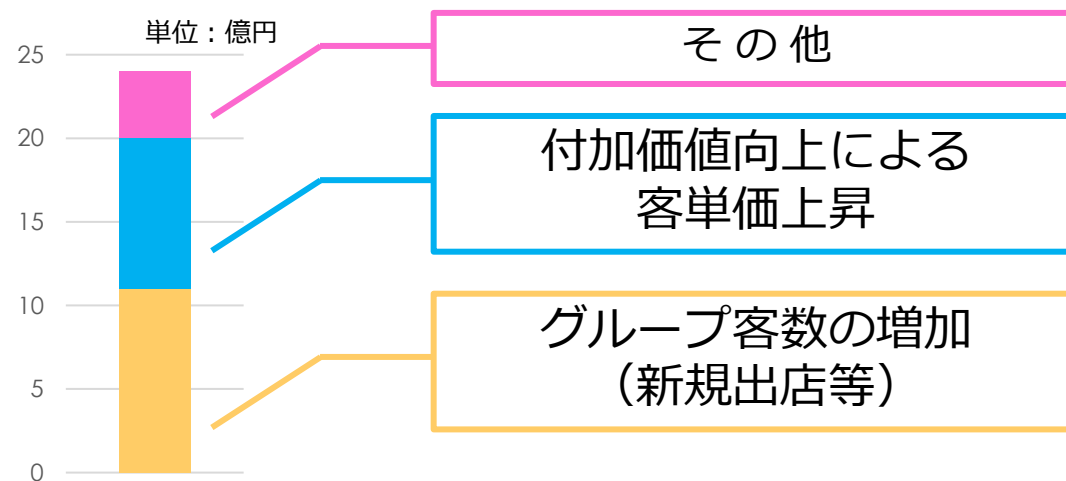
※2012年度より決算期が変更となっております

グループ店舗数の推移（中間期）



増収要因のポイント

- 新規出店によるマーケット拡大
 - ・ 前年中間期比8店舗増（過去3年間で国内出店38店舗）
 - ・ 未出店地域への出店強化
 - ▶ 長野県・千葉県（和食麺処サガミ）、茨城県（味の民芸）
- 付加価値向上による客単価上昇
 - ・ 比較的高単価な商品販売が好調
 - ▶ 季節メニュー、地域コラボレーションメニュー
 - ▶ ハレの日の「お祝い」需要増加に伴う付加価値向上が、客単価の上昇を牽引



財務・キャッシュフローの概況

連結財政状態

単位 (百万円／％)	2025年3月期	2026年3月期 第2四半期（中間期）
総資産	25,297	25,783
純資産	17,824	18,765
自己資本比率	70.4	72.7

連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2025年3月期 第2四半期（中間期）	2026年3月期 第2四半期（中間期）
営業活動によるキャッシュフロー	614	1,793
投資活動によるキャッシュフロー	△1,133	△1,663
財務活動によるキャッシュフロー	△729	△673

- 設備投資について
連結設備投資は1,640百万円（2025年3月期第2四半期（中間期）実績1,101百万円）となりました。
- 減価償却費について
減価償却費は428百万円（2025年3月期第2四半期（中間期）実績322百万円）となりました。

トピックス①

2026年3月期第2四半期（中間期）



サガミホールディングス

■ ゆたかさを感じられる職場づくり

人材の確保・定着・ワークライフバランス実現を目的として、給与、及び新卒初任給の引き上げ、夏の繁忙期前後に全店休業日を2日間設定、4日間以上の連続休暇取得制度の推進などに取り組みました。引き続き、当社最大の経営資源である人材への投資を継続し、お客様への提供価値向上へ取り組んでまいります。

■ サステナビリティの取り組み

持続的な企業価値向上を実現していく上で、気候変動がもたらすリスクを重要な経営課題と捉え有価証券報告書にて、TCFD提言に準拠した定量情報を開示いたしました。また、企業の気候変動に対する取り組みとその結果について、積極的に情報開示を行う目的で、CDP気候変動質問書への回答を実施いたしました。加えて、当社グループの企業活動の全体像、企業価値創造に向けた戦略や目標を総合的に紹介し、理解をより一層深めていただくことを目的として、8月に統合報告書を発行いたしました。

※2025年度版 統合報告書



トピックス②

2026年3月期第2四半期（中間期）



おかげさまで/
50周年
和食処 **サガミ**

■ サガミレストランツ（サガミ事業本部）

■ 季節の料理でおいしさ提供

「天然活じめ真あなごとはまぐり料理フェア」「本まぐろ料理フェア」「厚切り牛たん料理フェア」「北海道と北のめぐみ料理フェア」の計4回の料理フェアを開催いたしました。また、昨年度に続き、飛騨市と地域資源を活かした「おいしさ」訴求とブランド価値向上を目指した企画を開催いたしました。

■ おいしい“ね”^{ことほ}で寿ぐひととき。

「お食い初め（百日祝い）」、「一升米（一歳お祝いセット）」、「長寿のお祝い御膳」を全店舗で販売しております。「ハレの日のお祝いはサガミで」をテーマにした動画を制作し、認知度を向上を目的として店舗卓上に設置のタブレットで放映しております。

■ おかげさまで50周年

地域の皆様に支えられ本年度50周年を迎える事ができました。50周年の感謝を込めて、特別なイベントを随時開催しております。7月には、プロ野球公式戦ゲーム・スポンサーとしてバンテリンドームにて「和食麺処サガミ創業50周年感謝DAY」を開催いたしました。

■ IT化・DX促進の取り組み

タブレット型セルフオーダーシステムを全店に導入いたしました。本システムの導入は、注文受付以外の顧客接点であるお出迎えやお見送りを含む「おもてなし」に注力することを目的としており、よりお客様に寄り添ったサービス提供を実現することを目指しております。



トピックス③

2026年3月期第2四半期（中間期）



味の民芸フードサービス（味の民芸業態）

■料理フェアの開催

「本まぐろ料理フェア」「活〆真穴子料理フェア」「牛タン料理フェア」の開催に加え、「熊本うまかもんフェア」を開催いたしました。熊本うまかもんフェアでは、SKE48井上瑠夏さんとのコラボキャンペーンの実施など、新たなマーケティング施策を実施いたしました。また、本年度は「旅するサーモン」と銘打って、日本各地のご当地サーモンを旬に合わせてご提供していることや、「アナゴの刺身」「走る豚」など、希少食材を使用したメニュー展開を実施し、味の民芸でしか味わえない商品提供を心掛けております。

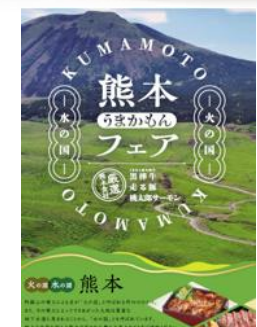
■手延べうどん食べ放題

毎年恒例となっている、おいしい手延べうどんをより堪能していただける感謝企画として「手延べうどん食べ放題」を5月に開催いたしました。



■新規出店

神奈川県横浜市に、「味の民芸 新綱島駅前店」を出店いたしました。味の民芸業態としては、昨年度に続く新規出店となります。今後も関東圏を中心にマーケット拡大を図ってまいります。



トピックス④

2026年3月期第2四半期（中間期）



サガミレストランツ（DDA事業部/業態開発事業部）

■ どんどん庵業態について

「自分好みを手軽に美味しく」をモットーに、うどん・そば・きしめんなどの各種麺類を取り揃えております。自社製麺の強みを活かし、高品質な商品をコストを抑えて提供することができ、多くのお客様にご好評をいただいております。

また、期間限定メニューとして「料理フェア」を4回実施したことに加え、4月に「どんどん祭」を開催いたしました。



■ 長助業態について

株式会社TOUCH TO GOが開発した無人決済システム「TTG-SENSE」を導入した

「十割そば二代目長助 日進店」をオープンいたしました。店内に設置したAI搭載カメラやセンサーを使い、お客様自身でお好きなそば・揚げ物をトレイに取り、レジの前に立つとレジ画面に自動で商品と合計金額が表示される、最先端の仕組みを導入いたしました。今後も生産性向上に向けた取り組みを推進してまいります。



※TTG-SENSE 利用手順



※十割そば二代目長助 日進店

トピックス⑤

2026年3月期第2四半期（中間期）



■ サガミインターナショナル

■ 欧州事業について

春夏シーズンでは、日本と同様に冷たい商品のラインアップを充実させ、現地の嗜好に合わせたプロモーションを展開いたしました。引き続き、イタリアのお客様に日本食文化をお届けできるよう、食材調達やオペレーション面での最適化を進めております。

欧州へ出店する店舗については、全店、現地パートナー企業による、フランチャイズでの展開となります。今後も北イタリア地域を中心に出店を検討してまいります。



■ ベトナム事業について

各店舗では、立地環境や顧客層の特徴に合わせ、現地在住の日本人向けには「とんかつ」や定食メニューを、ローカル顧客向けにはうどんを中心としたメニューをベトナム風にアレンジして提供しています。これにより、既存顧客の満足度向上と新規顧客層の拡大を両立させることを目指しております。

また、近年の外食市場拡大に合わせ、デリバリー需要への対応やSNSを活用したプロモーションなど、新たな販売チャネルの開拓にも取り組んでいます。特に若年層を中心に、日本食への関心が高まっており、「手頃で高品質な和食ブランド」としての認知が徐々に広がりつつあります。

2026年3月期について

■ 連結ベースの業績予想

単位 (百万円)	2025年3月期	当初計画 2026年3月期	計画（11.4公表） 2026年3月期
売上高	35,034	37,000	37,800
営業利益	2,058	2,250	2,500
経常利益	2,134	2,300	2,550
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,356	1,250	1,600

■ 2026年3月期について

■ 2026年3月期の通期業績予想につきましては、2025年11月4日に各利益予想の上方修正を行っております。

■ 2026年3月期（2025年10月～2026年3月）は、物価高騰の影響によりお客様の外食控えの懸念があることから、営業に関わるコスト増加分をメニューへ価格転嫁することを抑制しております。これにより利益率への影響も懸念されますが、上半期の好調な推移に加え、粗利益率の改善、及び生産性の向上への取り組みなどにより、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、通期で増収増益を見込んでおります。

ディスクロージャーポリシー（Disclosure Policy）



（１）基本方針

サガミグループは、『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～』という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

（２）情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム（TDnet：Timely Disclosure network）に登録し提供しています。

TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。

ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れる場合がございます。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

（３）業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実績に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

（４）沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、四半期ごとの決算期末日の翌日から当該決算発表までの期間を「沈黙期間」としております。

この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

（５）ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任（CSR）」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。